

患者さんに血液が届くまで

献 血

献血できる場所は、献血ルームや献血バスなど、全国にたくさんあります。



献血ルーム



献血バス

献血血液

血液センター

①検査

血液型や、ウイルス混入していないかを調べます。



②製剤

血液は成分ごとに分けられ、目的にあった血液製剤が作られます。



原料血漿

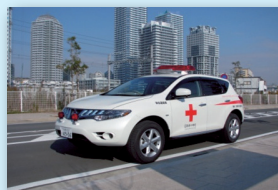
③保管

製剤の種類に応じて、適切な温度で保管しています。



④供給

365日24時間いつでも病院へ届けられるように、準備しています。



血漿分画製剤メーカー

成分ごとに分けられた血液（血漿）の一部は、血漿分画製剤の原料（原料血漿）として血漿分画製剤メーカーへと配分されます。

原料血漿はさらに様々な成分に精製され、20種類以上の血漿分画製剤となります。



主な輸血用血液製剤

赤血球製剤

慢性貧血、外科手術前後の輸血などに使われます。



有効期間
21日

血小板製剤

血小板産生低下による血小板減少症などの場合に使われます。



有効期間
4日

血漿製剤

外傷や外科手術などに使われます。



有効期間
1年

血漿分画製剤 (免疫グロブリン製剤等)



やけど、感染症、血友病の治療のためなどに使われます。

医療機関

血液製剤を必要としている患者さんのもとに届きます。献血で助かる命はたくさんあるのです。

